

おゆみ野南中だより



千葉市立おゆみ野南中学校

平成30年2月28日(水)

第11号 学校だより 弥生

温かな心は伝染する

校長 平江 正実

**将来、ほくはどこに行つてどういう仕事や生活をして、いつ死ぬのか。
そして今度は何になっていくのか。**

これは、30年近く前に私が中学2年生を担当をしていた時にある男子生徒が書いた悩み事です。当時学級活動の時間に、「みんなで考える悩み事解決法」という授業を行いました。一人一人が悩み事を一つ書いて担任に提出し、それを担任がワープロで打つて短冊にし、くじのように全員が引いて、それに回答し担任に提出する。それを担任がワープロで打つて印刷し、みんなで参考にしようというものです。中学2年生の悩み事ですから、「勉強と部活の両立ができない。」「どうしたら小遣いがたまるか?」「部活が楽しくない、どうしたらいいか?」などの内容が多くを占めていました。その中に、上のような悩み事が含まれていて、「この悩み事を引いた子は困るだろうなあ」と担任としては心配していました。

以下が、実際にこの悩み事を引いた女子生徒が書いたメッセージです。

あなたの夢は何ですか?どんな仕事や生活がしたいのですか?あなたがそれを望んで毎日努力すればきっと夢は叶います!毎日健康に気をつけて元気でいれば、100年だって生きられます!けれど、さすがに来世はわかりません。これは神様にまかせてください。それより、夢をかなえるには、大きければ大きい夢ほどたくさん努力しなければなりません。さっそく、今からがんばってください。とりあえず身近な目標から達成していくといいと思います。本当に簡単なことでもいいんです。例えば、「定期テストがんばるぞ!」とか、もう少し先の「合唱コンクールで優勝するぞ!」とか、こんな目標を一つ一つ達成していったら自分に自信をつけてください。そしていつか、きっとあなたの夢がかなうことを信じています。

担任としても、どのように答えてあげたらいいのか悩むくらい難しい質問に対して、心温まる見事なメッセージを寄せています。このメッセージを見て、すぐにその日の帰りの会で読み上げました。そして、「こんな素敵な返事を書いてくれる人がこの学級の中にいます。この悩み事を書いた人は今、とても幸せな気持ちになっていることでしょう。そして、こんなメッセージが書ける人と一緒に生活できるなんて幸せなことだね!」と学級の生徒に伝えました。みんな目をキラキラさせて、肯定していました。一つの心温まるメッセージがたくさん学級生徒に伝染しました。

次に受け持った学級では、悩み事と回答の例にこの内容を使って、「こんな心温まるメッセージを書いた先輩がいます。悩み事に対して、受け取った人がうれしく思うように書いてあげるんだよ。」と伝えました。その学級生徒の悩み事に対するメッセージは、どれも本当に心温まるものでした。

現在のおゆみ野南中でも、温かな心が生徒の間でたくさん伝染していることと思います。さらに、温かな心が伝染する学校を生徒・保護者・地域・教師で築いていくことができたらと願っています。

3月13日(火)には、第7回卒業証書授与式が挙行されます。たくさんの来賓の方が来校され、おゆみ野南中3年生の晴れの姿を祝ってくださいます。在校生にとっては先輩と共に過ごす最後の行事です。学校としても、卒業証書授与式を最大の行事として捉え、感動的な式になるよう心を入れて準備をしているところです。卒業生の保護者の皆様には、第7期卒業生が旅立つ時をお祝いいただきたく、ご来校をお待ちしております。

新入生体験入学



生徒会ガイダンスの様子です



この後校歌の練習も行われました

卒業式歌練習



2年生が1年生に歌を教えました

卒業式の練習に励んでいます

